

あいちゼロカーボン推進協議会

WG概要及び参加者状況、今後の予定

2021年9月27日

あいちゼロカーボン推進協議会  
事務局

# 1. ワーキンググループ活動体制



## 2. ワーキンググループ体制 メンバー企業・団体

### ゼロカーボン企業支援WG

リーダー： 株式会社ウェイトボックス  
メンバー： ケイティケイ株式会社  
公益財団法人国際環境技術移転センター  
株式会社柴田工業  
双日マシナリー株式会社  
大同特殊鋼株式会社  
一般社団法人中部産業連盟  
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
東郷産業株式会社  
豊田通商株式会社  
豊橋技術科学大学  
日本たばこ産業株式会社 東海支社  
NEXT Logistics Japan 株式会社  
野村證券株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社

### ゼロカーボンシティー支援WG

リーダー： 株式会社エックス都市研究所  
メンバー： 愛知工業大学  
犬山市  
大府市  
蒲郡市  
ソーラバンク  
田原市  
知多市  
常滑市  
豊橋技術科学大学  
半田市  
みよし市

## オープンイノベーション推進WG

リーダー： 名古屋大学

メンバー： 愛知工業大学

大同大学

大日本塗料株式会社

中京大学

中部大学

豊橋技術科学大学

名古屋工業大学

日本福祉大学

名城大学

## ゼロカーボン人材育成WG

リーダー： 愛知工業大学

メンバー： 大府市

豊橋技術科学大学

名古屋経済大学

**ゼロカーボン気運醸成  
情報発信、連携企画WG**

**リーダー： 名古屋大学**

**メンバー： 株式会社エックス都市研究所**

**大府市**

**公益財団法人国際環境技術移転センター**

**サカ工理研工業株式会社**

**清水建設株式会社**

**双日マシナリー株式会社**

**株式会社槌屋**

**知多市**

**日進機工株式会社**

**日本たばこ産業株式会社 東海支社**

**藤田医科大学**

## 3. ワーキンググループ活動概要

### ゼロカーボン企業支援WG リーダー：株式会社ウェイトボックス 鈴木社長

#### 概要

ゼロカーボン社会の実現に向け、地域企業の多くでもゼロカーボンを目指す取り組みが急速に広がっている。しかしながら現段階では「ゼロカーボン企業」の国際的な定義はいまだ明確になっておらず、実現に向けどのように取り組んでいくべきかという点に課題を持つ企業は多い。当WGでは、環境省・経済産業省が運用するグリーン・バリューチェーンプラットフォーム等で紹介されている、SBT・RE100・WMBなどの国際的な潮流も踏まえ、ゼロカーボン実現の道筋を地域企業に具体的に提示する企業支援の在り方について検討をしていく。

#### ミッション

地域企業が、ゼロカーボン企業として主張する為に必要な種々の支援体制を確立する。

#### 活動の方向性

ゼロカーボン企業支援WGにおいては、以下の項目に分け専門要員の育成、専用ツールの開発を行う。また、必要に応じて地域の支援企業の育成も行う。

- ・国際潮流の説明要員の育成
- ・現状把握の為に算定支援ツールの配布、削減目標設定ツールの配布（SBT）
- ・進捗率評価方法の検討
- ・情報開示サポート機関の育成（CDP、GRI）

#### 成果の評価・発信

2022年度までに、ゼロカーボン企業として、SBT、RE100、TCFD等の国際イニシアティブ上でのコミットメントする地域企業を増大させ、成果を数値化して公表。

## ゼロカーボンシティ支援WG

リーダー：株式会社エックス都市研究所 嶋影所長

### 概要

地球温暖化対策の推進に関する法律では、都道府県及び市町村といった地方自治体は、その区域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出の抑制等のため、総合的かつ計画的な施策を策定し実施するように努めるものとされています。こうした制度も踏まえ、現在（6月25日現在）全国414自治体（うち、愛知県内においては11自治体）が脱炭素社会に向けた2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明しており、この動きは今後加速するものと思われる。

自治体は住民の福祉の増進を図ることを基本とし、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものであり、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことが、今後の役割の中核となる。

### ミッション

2050年までのゼロカーボン化を目指し、2025年までに協議会の自治体におけるゼロカーボン化の実現に向けた計画等が策定できるよう、関係省庁や愛知県による自治体への支援策や全国における先進的な取組事例等の必要な知見を展開する。

### 活動の方向性

○ゼロカーボンシティに係る最先端の取組や国等による支援策の共有、提言のための議論等を行う場を創設する。

【共有が期待される知見の例】

- ・地球温暖化対策実行計画等の策定に役立つ知見
- ・産学官連携の在り方
- ・市民等との協働のまちづくり

### 成果の評価・発信

- ゼロカーボンシティに向けた計画等を策定する自治体名
- 各自治体において策定した計画等の公開

# WG詳細説明 活動概要

## オープンイノベーション推進WG

リーダー：名古屋大学 小橋教授

### 概要

地球環境は、まもなく後戻り不可能な転換点 (tipping point) を迎えるといわれています。この転換点を超えないようにゼロカーボン社会を実現する必要があります。このために必要は課題は多種多様です。再生可能エネルギー要素技術、熱マネジメント技術、軽量化技術、エネルギー変換技術、CO<sub>2</sub>固定化技術などのように工学が解決すべき課題だけでなく、CO<sub>2</sub>を排出する工程の合理化、都市システムや交通システム合理化、法整備、国際戦略など情報学、環境学、経済学、法学など学際的な取り組みが不可欠です。これら学際的な課題を総合的に取り扱い基盤となる知識・情報を社会全体で共有することによりゼロカーボン社会の実現が加速します。オープンイノベーション推進WGでは、ゼロカーボンを達成するために社会が共有すべき基盤技術、社会課題、国際動向を整理して情報を発信していく。

### ミッション

2050年までのゼロカーボン化を目指し、その実現ために必要な技術課題・社会課題を抽出する。課題解決のために現在取り組まれている研究、技術開発、システム開発等の情報を収集し、これらが相乗効果をもって連携するコンソーシアムをデザインする。コンソーシアムでは基盤技術を共有化し、参画メンバーのカーボンニュートラルへの取り組みが加速するための情報を絞り込んでいく。ゼロカーボンに関する国際的な動向も情報収集する。

### 活動の方向性

○メンバーおよびその周辺機関が保有するゼロカーボン実現のための要素技術・関連情報を集約する。

【ゼロカーボン実現のための要素技術・関連情報の例】

- ・CO<sub>2</sub>固定化技術、軽量化技術、プロセス最適化技術などのゼロカーボンの基盤となる工学分野
- ・ゼロカーボンに向けた社会課題と解決の方向性
- ・海外におけるゼロカーボンへの取り組み事例

### 成果の評価・発信

- ゼロカーボンに資するオープンイノベーション技術に関するシンポジウム開催
- WGで整理した情報をWebページを通して公開



# WG詳細説明 活動概要

## ゼロカーボン人材育成WG

リーダー：愛知工業大学 小野木教授

### 概要

ゼロカーボン社会を実現するにあたっては、それに係るさまざまな課題解決の総体としての視点が必要となる。しかし、これらの課題はいずれも時間的にも空間的にも異なる大きさ・広がりを持っており、しかもそれらが互いに網目状に複雑に関連し合っている場合も多い。したがって、個々の課題を解決するにあたっては、その解決が他の課題解決に及ぼす影響を予め予測し、そのもとで対象とする課題の境界を定めた後、適切な評価に従って解決を図ることが必要となる。このため、この担い手には、既存の知見・技術に加え、俯瞰的に対象をとらえることができる資質・能力も必要となる。

このような観点から、本WGは、企業、大学、行政が協力して、ゼロカーボン社会の実現を担う人材に必要な資質・能力について議論を進め、それを涵養することができる取組みを検討するとともに、その実践をめざすものである。

### ミッション

ゼロカーボン社会の実現に向けた人材育成のあり方の検討およびその実践をめざし、あいちゼロカーボン推進協議会員を含む関連企業・機関が現在および将来に渡って必要とする人材像に係る議論を進める。併せて、その育成に関する具体的な取組みについて検討し、場合によっては試行・実践をめざす。

### 活動の方向性

社会人・大学生を対象としたゼロカーボン社会の実現に向けた人材育成のあり方・取組みの検討

1. 人材育成のあり方・取組の検討： あいちゼロカーボン推進協議会員の意見集約・共有
2. カリキュラム・教材等の開発： 技術革新・社会革新を意識した取組み
3. 人材育成を通じた産学官人材交流の推進： 東海を中心とした地域に根ざした人的ネットワークの構築  
補記： 1,2の活動は「大学等コアリション」と一部連携して活動する予定

### 成果の評価・発信

検討した人材育成取組みの具体化・実践

# ゼロカーボン気運醸成

## 情報発信、連携企画WG

## リーダー：名古屋大学 小林准教授

### 概要

地球温暖化の抑制の重要性や気候変動の顕在化は、社会で認識されてきているが、ゼロカーボン／カーボン・ニュートラルの意味や、これに向けた取り組みの重要性を社会で広く受け入れられるのは、これからの課題である。また、経済活動においては、ゼロカーボンを目指す多くの企業が、これから自ら取り組むための指針や方策を模索し始めている。

そこで、国内外の政策、国際標準、国際協調、CO2取引やCO2排出規制などの社会制度、技術動向などの最新の質の高い情報を集積し分類するとともに、分析しその結果を提供する。また、これに関わるホームページの作成、セミナーの開催を行う。さらに、企業・各種団体間の連携を促すための情報のプラットフォームを提供する

### ミッション

ゼロカーボンに向けた行動の大切さを広く社会で浸透し、経済活動におけるゼロカーボンを目指す多くの企業の取り組みを側方から支援するために、国内外の政策、国際標準、社会制度、技術動向などの最新の質の高い情報を集積し分類するとともに、分析しその結果を提供する。さらに、企業・各種団体間の連携を促すための情報のプラットフォームを提供する。

### 活動の方向性

国内外の政策、国際標準、社会制度、技術動向などの最新の質の高い情報を集積し分類する仕組みを作り、情報を提供する。

【提供する情報とサービスの例】

地域別国内外の政策、国際標準、社会制度、技術動向、企業・各団体のシーズとニーズ情報の提供とマッチングシステム

### 成果の評価・発信

ホームページ作成、情報アーカイブ、企業・各団体のシーズとニーズ情報の提供とマッチングシステム構築

## 4. 今後の予定 (9/27時点)

### 2021年

10月下旬 第2回企画委員会

11月上旬 講演会

11月上旬 第2回運営委員会

11月下旬 第2回理事会 2021年前半活動報告

12月上旬 第3回企画委員会

12月下旬 第3回運営委員会

### 2022年

2月上旬 第4回企画委員会

2月中旬 第4回運営委員会

2月中旬 講演会

3月上旬 第3回理事会 2021年 活動総括 2022年 活動計画